

第4回 大阪スーパーシティ協議会 会議要旨

1 日時（意見募集期間） 令和6年3月22日（金）～3月28日（木）

2 開催方法 書面開催

3 出席者

吉村 洋文	大阪府知事
横山 英幸	大阪市長
松本 正義	公益社団法人 関西経済連合会 会長
鳥井 信吾	大阪商工会議所 会頭
角元 敬治	一般社団法人 関西経済同友会 代表幹事
石毛 博行	公益社団法人 2025年日本国際博覧会協会 事務総長
中島 篤	三菱地所株式会社 執行役社長（うめきた2期開発事業者JV代表企業）

4 議 題

- （1）これまでの経過
- （2）大阪スーパーシティ全体計画の推進状況
- （3）その他

5 会議要旨

意見等の概要は次のとおり。

- ・ 令和4年12月の全体計画策定からこれまで関係者の皆様にお力添えいただきながら、各プロジェクトのサービス実装に向けた取組が着実に進んでいることを実感した。

令和6年度は、マイルストーンとしている大阪・関西万博開催が1年に迫るとともに、うめきた2期地区の先行まちびらきの年でもあり、フェーズ1及びフェーズ2の取組の実現に向けた準備の総仕上げとなる非常に重要な1年である。各サービスの実装に向け全力で取り組むとともに、2030年頃の未来社会の先行実現に向けて、万博後のフェーズ3の検討も深めていきたい。

特に、大阪広域データ連携基盤 ORDEN については、データ連携によるサービスの創出を進めていきたい。また、スーパーシティを起点とした都市間の広域連携、横展開に向けた共同利用の準備も進めていきたい。

さらに、サービスの実現に必要な規制改革の取組を官民が協力し、より一層進めていく。協議会の皆様には、引き続きご協力をお願いする。

- ・ これまで、民間事業者の皆様をはじめ、関係者の皆様にご協力いただきながら、万博の円滑な開催や先端的服务の早期実装の観点から区域計画に3つの事業を位置付けるとともに、全体計画に沿って大阪のスーパーシティを着実に進めてきた。

令和6年度は、夢洲コンストラクションでは建設工事の円滑化に向けた取組におけるデータ活用等、新しいサービスの実証・実装にチャレンジし、うめきた2期では万博に先立って将来的なまちを紹介するべく、9月の先行まちびらきを契機として段階的に、来街者の利便性向上に資するサービスを提供するなど、フェーズ1で弾みを付け、フェーズ2の大阪・関西万博では未来社会の実験場というコンセプトに沿った先端的服务の実装に取り組んでいきたい。万博後のフェーズ3では、自動運転や空飛ぶクルマの実現等に取り組むことで、住民のQoLの向上と都市競争力の強化、さらには大阪市域、大阪府域への展開へ向け、スーパーシティ構想を推進してまいる。

引き続き、民間事業者の皆様から大阪の未来社会の実現に向けた先端的服务や規制・制度改革をご提案いただくことを期待するとともに、協議会の皆様と一体となって取り組んでいきたい。

- ・ 関係各者の皆様には平素、夢洲コンストラクションの推進にご協力いただき、感謝申し上げます。大阪スーパーシティ全体及び、各分野の進捗状況について、承知した。今後の推進に際しては、以下の通り意見申し上げます。

スーパーシティの取組自体は、「規制改革」や「データ連携」を手段として活用するものであり、その取組を通じて先端的服务を実現させること、そしてその先にあるビジネス機会の増大などの目的・結果が、より重要ではないかと感じている。

先端的服务の実現に際しては、スーパーシティにて取組む規制改革やデータ利活用の他にも、各種課題が存在すると感じており、大阪で官民連携のもとすでに取組が進んでいる、スタートアップ、医療、観光、まちづくり、金融などの各分野での施策と連携し、相乗効果を生み出していく必要があると考える。

- ・ これまでの経過については、都度、事務局から共有いただいているので、特筆すべき意見はない。

大阪スーパーシティ全体計画の推進状況については、ヘルスケアに関連するプロジェクトについて、事業会社と事務局の方々のご協力を得て具体的な議論を進めている。引き続き、密なコミュニケーションとご指導をお願いしたい。

先端的服务の開発・構築及び規制・制度改革に関する調査事業に関する情報を含むパンフレットを作成いただいたので、企業の関心を高められるよう周知に協力させていただく。

- ・ 大阪府市におけるスーパーシティの実現については、グラングリーン大阪の上位計

画である「みどりとイノベーションの融合の実現」という「まちづくりの方針」にも通じるものがあり、共感をしている。また、官民連携で作り上げるうめきた公園を中心としたグラングリーン大阪での取組が、スーパーシティ全体計画とも相乗効果を生み出し、大阪府市にとって他都市との差別化・競争力向上に資する機会・先導的事例となることを期待している。

大阪スーパーシティ全体計画については、一昨年段階ではグラングリーン大阪開業及び関西万博に向けて取り纏めをなされた背景があるが、万博開催後の持続的な大阪府市の発展に向けて、今後も継続して全体絵姿の見直しについて議論すべきであるとする。また、技術動向や社会情勢の大きな変動も予想される中、本全体計画については柔軟に運用されるべきであると認識しており、今後も継続して検討・協議させていただきたい。

本全体計画で取り扱う対象は、法令改正項目に限る訳ではなく、運用面も含めた柔軟な緩和項目も対象にしており、是非法令改正のみならず幅広い項目を対象とした運用がなされるよう、官民連携し邁進出来る枠組みを構築し機能させるべきと考える。うめきた公園を始めとするグラングリーン大阪は、この場所に訪れる多様な人々・企業と一緒に、イノベーションを実現する場所であり続けることをめざしている。現在、グラングリーン大阪開業に向けて企業の誘致や各企業と連携した取組の検討なども行っているが、グラングリーン大阪での共創の理念やスーパーシティに位置づけられていることも評価に繋がっている。今後も国内のみならず海外も含めて広域に企業等誘致し、大阪府市の成長牽引役として持続的に役割を果たすためにも、本規制緩和検討が柔軟に運用されることを期待している。

また、イノベーション創出の下支えとなる社会インフラ等（国土交通省にて進めている 3D モデルや都市インフラに資するシステム等）については、うめきた公園やグラングリーン大阪への期待が大きいと感じている。官民で適切に役割分担のうえ、持続的に運営していくことでより充実した取組がなされるものと期待している。是非官民ともに手を取り合って、大阪を盛り上げていきたい。

6 会議資料

- (1) 委員名簿
- (2) 大阪スーパーシティ協議会規約の一部改正について
- (3) 資料 1－1_これまでの経過
- (4) 資料 1－2_大阪府・大阪市スーパーシティ型国家戦略特別区域 区域計画
- (5) 資料 1－3_区域計画記載事業
- (6) 資料 1－4_これまでに実現した規制改革
- (7) 資料 2－1_大阪スーパーシティ全体計画の推進状況
- (8) 資料 2－2 先端的サービス及び規制改革事項総括表

- (9) 資料 3－1_スーパーシティに関する周知・情報発信
- (10) 資料 3－2_「先端的サービスの開発・構築及び規制・制度改革に関する調査事業（スーパーシティ・デジタル田園健康特区対象）」（仮称）について（事前公表）